

## わが職場

今治造船(株) 丸亀事業本部は、1970年に工場建設に着手し、1972年に第一船目となる「ほうらい丸」の建造以降、45年間で560隻(H27年4月末時点)もの船舶を建造してきました。現在、丸亀工場では、小麦や大豆等の穀物を運搬する「ばら積み船」と7000台の自動車を一度に運搬可能な「自動車運搬船」を主に建造しています。

丸亀工場では、社員・協力事業所従業員を併せて約2400名が日々、船舶の建造に従事しており西多度津事業部・蓬萊事業部を併せた丸亀事業本部全体では、3300名を超える規模となり国内でも屈指の造船集積地となっています。

現在は、船の大型化が進む業界の流れに対応する為、より一層の大型船建造が可能となる全長600m/幅80mの大型ドックの新設工事に着手しており、2016年10月の完成を予定しております。又、国内最大級の吊り上

げ能力を持つ1200t吊りゴライアスクレーンを3基設置する計画となっております。高さ90m、幅182mと非常に大型の門型クレーンで、四国の玄関となる瀬戸大橋、また、市内各所からも一望出来る事から、丸亀市の新たなランドマークになる事を期待しております。

社内の安全衛生管理に関しましては、2014年5月に労働安全衛生マネジメントシステム『OHSAS18001』の認証を取得しました。造船現場は、人の手による作業が未だ多く存在しており、自動化を図る事が難しい職場ではありますが、自主的な労働安全衛生管理活動に、今後より一層取り組むと共にRAによる職場のリスク評価、PDCAサイクルを有効に回す事で継続的な安全設備の改善、労働災害の事前予防措置を図る事を目標としています。

その様な中、ここ最近発生している事例は、何れも人間特性による省略行為、横着行為が起因となるものである事から危険予知活動の再強化が喫緊の課題であると感じて

います。

又、管理・監督者による『人・物・場』の管理を徹底させる為に現場最前線で働く管理・監督者を対象に、労働基準協会丸亀支部にご協力頂き、職長・安全衛生責任者教育を計6回開催し、約360名が受講致しました。

最後になりますが、今治造船グループは、瀬戸内に9造船所、3事業部を含んだ事業規模となり年間90隻以上の船舶を建造しています。島国である日本では、輸出、輸入共に船が必要不可欠なものであり、船舶の建造を通じて地域社会に貢献致します。さらに、構内で働く全従業員を毎日怪我無く、ご家族の元に帰って頂く事を目標として日々、安全な職場作りに取り組んでいます。これからも皆様方のご指導・ご鞭撻を賜ります様、宜しくお願ひ申し上げます。

『ご安全に!』

今治造船株式会社

丸亀事業本部

安全対策グループ

安全管理チーム

チーム長 森部 晃幸